

こねこの グレ

絵・文 本多豊國





こねこの グレ

絵・文 本多豊國



ゆうちゃんがこねこのグレを、はじめて見たのは、
あきちの材木置場でした。





ひとりぼっちのクレは、
聞くこともできないくらい、こわがっているようでした。
遠くがらじくと、ゆうちゃんを見ているだけでした。

ゆうちゃんが近づいていくと
グレは草むらに逃げこんでしまいます。
それから毎日、
ゆうちゃんはグレを見にあきちへ行きました。
グレはやっぱり、
草むらや材木のかげに逃げていってしまいます。



あきちでは、
花が咲いて草が風に吹かれてゆれています。



だれもないとき、ちょうちょを追いかけてたり、



バッタをつかまえようとしたり、
グレはひとりで遊んでいました。



木に登っておりられなくなったこともありました。



鳥をねらったり、



ねこじゃらしで遊ぶこともありました。

遊びつかれると、花や草につつまれてひとりで眠りました。

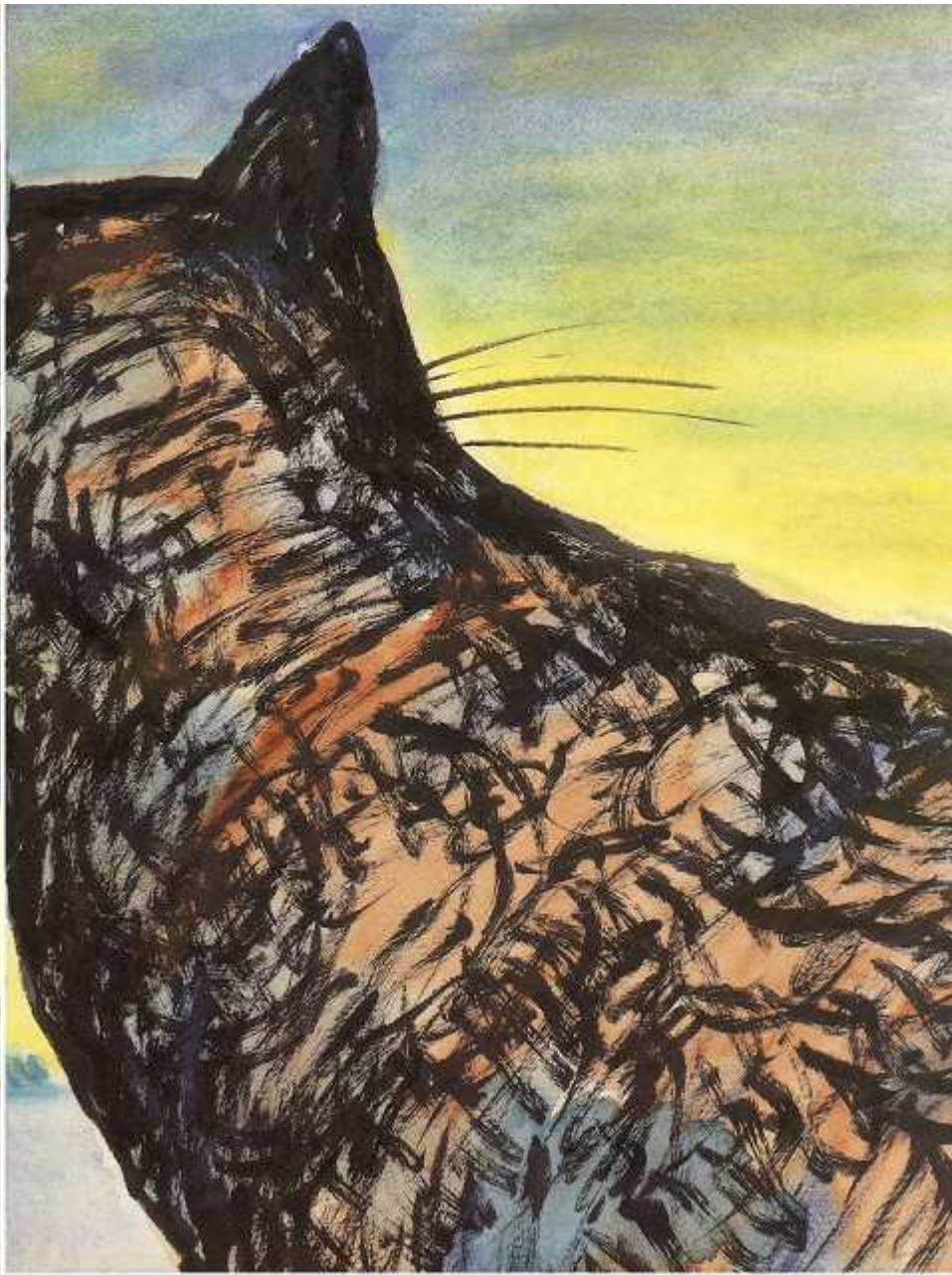
それでも、だれかがあきちのそばを通りかかると
あわてて草むらや材木のかげに逃げこんでしまいます。



ある日、お皿いっぱいキョットフードを持ってゆうちゃんがやってきました。
グレは、材木のかげから見ているだけでした。
ゆうちゃんがグレを呼んでいます。またグレは材木のかげで見えています。
ゆうちゃんはなんともなんともグレを呼びました。
しばらくしてグレは走り出しましたがすぐ止まてしまいました。
キョットフードのお皿のそばでゆうちゃんが笑っています。
それでもグレは、近づくことができませんでした。
ゆうちゃんが帰ってしまうと
大急ぎでグレはキョットフードのお皿のところへかけよりました。
グレが食べはじめたちょうどそのときのことです。



大きなねこたいしょうが
のっそりとやってきて
こわい顔をして、フーッとうなりました。



グレを追いはらいキャットフードをとりあげると、
のらねこのたいしょうはガツガツと食べています。



すっかり食べてしまうと満足そうに目を細めてあきちを出て行きました。
もうグレのキャットフードはひとつかけらも残っていませんでした。

おなかがすいたまま、夜がふけていきます。
きれいなお月さまをグレは見あげていました。



そのとき、草をかきわけかきわけ
近づいてくるものがありました。
グレの前までやってきてくわっと鳴いたので
びっくりぎょうてん。
それは大きなカエルでした。
グレとカエルは追いかっこをしたり
月をながめたり
一晩中遊んでいました。



朝になるとカエルは
草むらの中へ消えていきました。

毎日ゆうちゃんは、
キャットフードやミルクや水を持ってあきちにやってきました。
やっぱりグレは、ただ遠くから見ているだけでした。
ゆうちゃんが行ってしまったから
急いでキャットフードを食べました。
それでも毎日毎日、ゆうちゃんは
キャットフードやミルクや水を持ってあきちにやってきました。

幾日もたってやっとグレは、
ゆうちゃんがいても走って行って
キャットフードを食べるようになりました。
ゆうちゃんにはにこにこしてグレを見えています。





あきちに犬がきてグレを追いまわしたことがありました。
グレはこわくてこわくて
材木のかげに逃げこんでふるえていました。



シッ！！あっちへ行け。
ゆうちゃんがきて可愛い犬を追いはらってくれました。



安心したグレは、ゆうちゃんを見ました。
いつまでも、いつまでもゆうちゃんを見ていました。
そして、なんだかふしぎな気持ちにつつまれていきました。





ある日のこと。
いつものように材木のかげで眠っていると、
聞きおぼえのあるあの足音が近づいてきます。
グレの胸はドキドキしてきました。



ゆうちゃんだ。
グレはとびだしていきました。
そして、思いきり走りだしました。
お皿にいっぱいのキャットフードを持った
ゆうちゃんが笑っています。

グレ!!

大きい声で呼びました。

ニャア!!

グレは、はじめて鳴きました。

さあ、行こう。

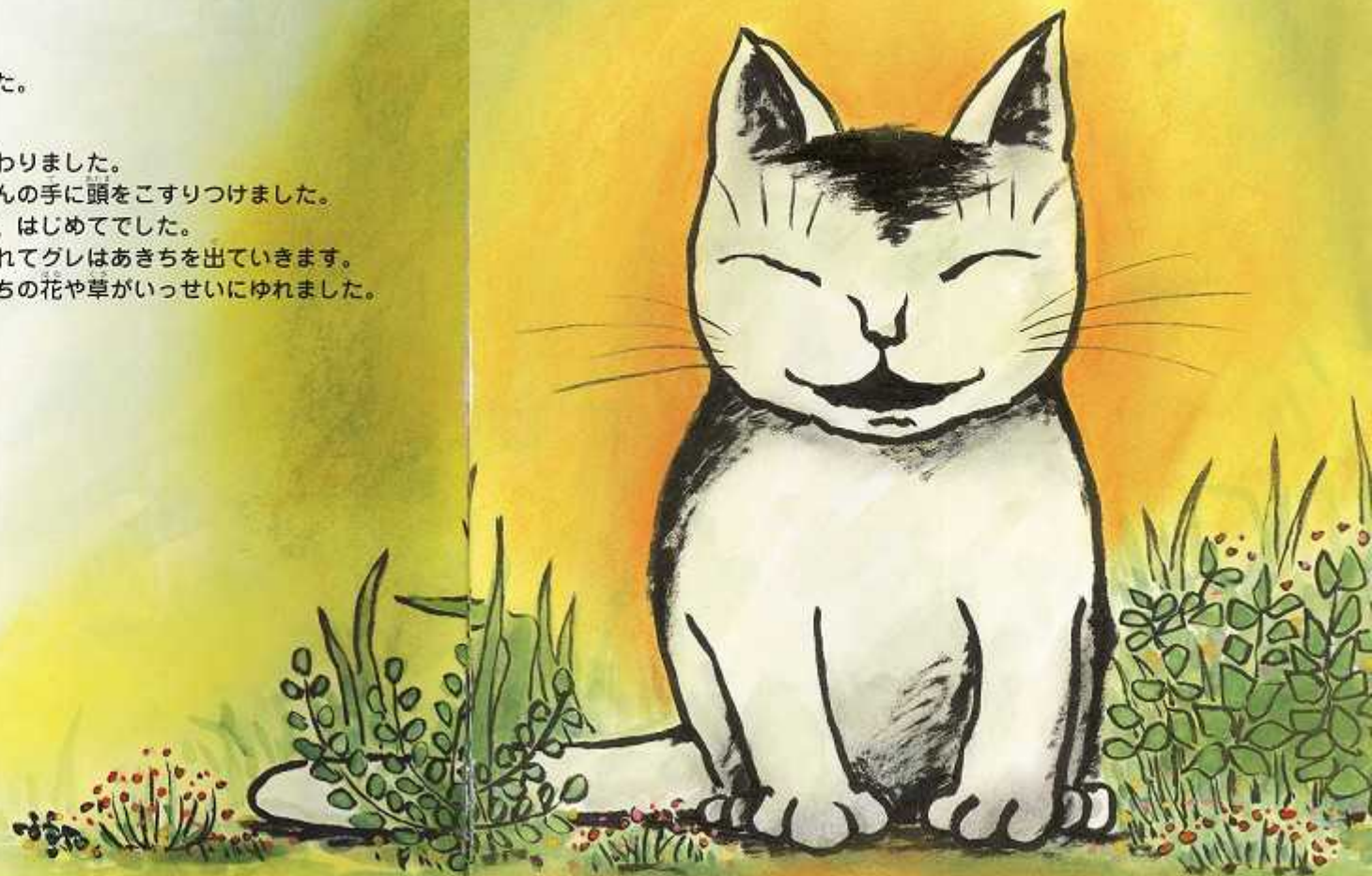
ゆうちゃんの手がグレにさわりました。

グレはうれしくてゆうちゃんの手で頭をこすりつけました。

こんな気持ちになったのは、はじめてでした。

ゆうちゃんに抱きかかえられてグレはあきちを出ていきます。

風がさあっと吹いて、あきちの花や草がいっせいにゆれました。





いまグレはゆうちゃんの家にあります。
グレはゆうちゃんがそばにいと
安心して遊んだり
キャットフードを食べたりできます。
グレはゆうちゃん大好きです。
ゆうちゃんもグレが大好きです。





今日も、ゆうちゃんのグレを呼ぶ声がします。
もうグレはひとりぼっちではありません。
いつもゆうちゃんといっしょです。

あとがき

グレのこと

これは実際にあったお話です。

グレは、すてられた猫でした。たったひとり（一匹）でがんばって
いました。ほんとに小さな猫で、あき地にいつもいました。家に運
れて帰らなかったのですが、ぼくの家には猫がいたので、すぐに運
れて帰ることができませんでした。ぼくたちは、あき地にキャット
フードやミルクを持っていくようになりました。でもグレは材木や
草むらの中に隠れてなかなか出てきません。しかたなく、キャット
フードやミルクを置いて遠くから見ている日々が続きました。

近所の人の中には、「ノラ猫にエサをあげないで」と言う人もい
ました。グレはこんなに小さいのにノラ猫ということになってしま
いました。それで、このお話のようなことがあって、グレは家に来
たのです。そして、もうノラ猫ではなくなりました。

グレは、あき地にいたとき病気にかかっていた。家に来てか
らもずっと病気で、一年くらいでフツと死んでしまいました。ぼく
たちは悲しくて、グレのことを絵本にしようと思いました。もっと
早く家に連れて来ていればよかったと思ったりもします。

この絵本は、猫のやわらかさやしなやかさを表現したいと思って、
筆を使って墨で描きました。色は水彩絵具を塗り、明るさを出すた
めにその上からパステルを使いました。グレをスケッチしたものが
たくさんあったので、それをもとに絵本にしました。猫好きの人た
ちのことをいつも考えて創りました。



本多豊國・略歴

1945年（昭和20年）東京に生まれる。
1971年（昭和46年）モンゴル・ゴビ砂漠の寺院で剥落の激しい仏画を見て、それまでの油彩による制作を放棄する。
以来、墨と彩とによって“アジア的”を主題に制作・発表を続けている。他に墨絵による「ふすま」「屏風」「掛軸」や、京都禅定寺壁画「大涅槃」などを制作。
2000年（平成11年）中国・青島国際版画ビエンナーレ 優秀賞
1990年（平成2年）から絵本の製作にも。
主な作品は「き」「かさじぞう」（フレーベル館）「なよたけのかぐや姫」（ラポ教育センター）「きいろいセーター」（清流出版）など。
また、主な入選歴、展覧会は次の通り。
・「こぶとり」ポーロニャ国際絵本原画ビエンナーレ入選（イタリア）
・「ももたろう」ラニョン国際絵本原画ビエンナーレ グランプリ
「イカロス背」（フランス）
・「きいろいセーター」ゴールデンペン・ビエンナーレ 入選（ユーゴスラビア）
・「本多豊國特別招待展」プラチスラバ国際絵本ビエンナーレ（スロバキア）
他に雑誌・TV・広告イラストレーションなどでも活躍中。

こねこのグレ
2001年7月20日 初版発行

著者 本多豊國
© Toyokuni Honda, printed in Japan, 2001
発行者 加登屋唯一
発行所 清流出版株式会社
東京都千代田区九段北1-3-5（〒102-0073）
電話 (03) 3288-5405
振替 00130-0-770500
印刷・製本所 内外印刷株式会社
編集担当=秋篠貴子
デザイン=本多豊國
乱丁・落丁本はおとりかえいたします
ISBN4-916028-92-9 C8793
<http://www.seiryupub.co.jp/>

ISBN4-916028-92-9

C8793 ¥1200E

清流出版 定価(本体1200円+税)



9784916028921



1928793012002



こねこのグレ
2001年7月20日 発行

著者：本多豊國
発行者：加登屋陽一
発行所：清流出版株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-5
電話 03-3288-5405
振替 00130-0-770500
印刷・製本所 内外印刷株式会社
編集担当：秋篠貴子
デザイン：本多豊國

ISBN4-916028-92-9 C8793

電子書籍編集：HONDA WORKS
<http://www.nekomachi.com/>



豊國

Toyokuni Honda

1945年東京生まれ。アーティスト。

主に墨絵で絵を描く。独特の墨の線と彩(いろ)で見る者を魅了している。

その絵からは安心感や勇気、元気などが伝わってくる。

現在を生きる墨絵として評価が高く日本のみならずアメリカでの評価も急上昇してきている。

絵本は欧州で評価が高く様々な賞を受賞している。

また墨絵を観客の目の前で描く墨絵ライブのパフォーマンスは日本やアメリカで高い評価を得ている。

本多豊國のより詳細については下記アドレスから。

<http://www.nekomachi.com>